

まほろば秦野通信

令和6年1月5日

タイトル	子どもたちが無病息災、家内安全を祈り家々を回る 地域の伝統行事「あくまっぱらい」が行われます
When (いつ) Where (どこで) Who (だれが)	【北地区・横野】 日 時：1月6日（土曜日）8：30集合、9：00出発 場 所：加羅古神社（所在地：横野608番地） 参加者：横野地区 子ども会 【西地区・堀西】 日 時：1月13日（土曜日）9：45集合、10：00出発 場 所：天津神社（所在地：堀西769番地） 参加者：波多川子ども会 【上地区・菖蒲】 日 時：1月13日（土曜日）15：00集合、15：30出発 場 所：道祖神前（所在地：菖蒲997付近） 参加者：下東地区の小・中学生の男子
What (なにを)	江戸時代から続く小正月の伝統行事「あくまっぱらい」※ ※いくつかの地区に伝えられている道祖神祭りの別名の一種で、無病息災、家内安全を祈る行事です。
How (どのように)	【北地区・横野】 地元では獅子舞と呼ばれ、地区の小・中学生が最年長の大將を中心に獅子頭をかぶり、太鼓を鳴らしながら「舞い込め」の掛け声とともに、横野地区の約200軒の家のお払いをして回ります。 一時、途絶えていた時期がありましたが、昭和40年代に子ども会が再開しました。 【西地区・堀西】 波多川子ども会の子供たちが獅子頭を持ち、地区の約200軒の玄関先などを回り、「あくまっぱらい」と大声で唱えます。 【上地区・菖蒲】 下東地区 <small>しもひがし</small> の小・中学生の男子が、最年長の大將を中心に獅子頭 <small>ごへい</small> や御幣を持ち、ひよつこの仮面をかぶって、菖蒲地区の約150軒の家 <small>ごへい</small> の玄関先などで「あくまっぱらい」と大声で唱え、手作りの札を配ります。
過去の実績	毎年小正月（1月15日前後）に行われます。
問い合わせ	生涯学習課 文化財・市史担当：浦野 電話：0463（87）9581

